

に國費を投して維持し漸次損金をも埋合せたり、此所にて收益の考を去り需要者に分配せんと欲するも、前述の如く其方法宜しきを得ざれば却て弊害を生ずべく、寧ろ利益を國庫に收め、多年の間損失せし人民の負擔を減する方合理に非ざるか、此等の點に關しては政府か決して無主義無方針に非ざることを辯明するものなり。

古谷久綱實氏質問 唯今農商務大臣の演説を聞き我國將來の鐵供給の方針を承りたるが、八幡製鐵所の擴張は是を以て終了し後は民業の獎勵をなすと聽取たり、果して然るや、而して其獎勵の方法として種々ありと述へられ、資金、原鐵、技術の三者に關し獎勵を與へらるゝ如く承りたり、さすれば茲に製鐵會社を新設するものあらば、政府は之れに補給利子にても與ふる積なりや、鐵石の援助とは具體的に如何なることをせらるゝにや、技術に關しては八幡に熟練なる技師澤山ありと述べられし様覺ゆるか、或は之れを民間に貸與へらるゝにや、又設計上に付ては設計書にても製鐵所に持參すれば見て貰へるものによ此等の點を承りたし。

河野農相答辯 資本の補助と云ふ事は私は申さず、鐵石の量は之れを調査して民間企業者の設計の基礎を供給すべく、技術者の養成等に付ても及ぶたけの力を注ぐへしと雖、資金は補助するともせぬと言はず、又設計に關し製鐵所に廻附して意見を求めらるゝならば、其信する所を以て御相談に應ずることあるへし。

右答辯了り採決の結果滿場總起立して政府案を可決せり。

### ●官民合同製鐵調査會設置建議

本邦製鐵事業

の振興に關し、講演に討論に豫て盡力を試み來れる機械學會、造船協會、火兵學會、日本鑛業會、建築學會、土木學會、電氣學會及び本會會員中の有志者阪田貞一氏外十九名は今回更に左記覺書に記せる如く官民合同の製鐵調査會を組織するの要ありと爲し、農商務大臣其他關係各省大臣及

帝國議會に對し、夫れ／＼進言する所ありたり。

### 覺 書

鐵鋼材の缺乏は萬般工業の進歩を阻害すること極めて大にして、延いて國防の基礎を危うするものなり、今や歐洲の戰亂は殆んど物資の輸入を杜絶せしめ、爲めに本邦は將に鐵鋼材の飢饉に遭遇せんとす、此秋に際し製鐵所第三期擴張は最も時宜に適するの處置なりと信すれとも我邦工業の獨立を鞏固ならしむるには、更に進んで鐵鋼材を永遠に自給するの策を講せざる可からず、然れとも此事業たる其關聯する處極めて廣く、到底一部爲政者の意見のみを以て決すへきものに非ず、彼の枝光製鐵所擴張計畫の如きも、其内容に至りては尙考量の餘地ありと稱するものあり、故に此際政府は廣く有識の士を網羅せる製鐵事業調査會を組織し、慎重審議以て鐵鋼材獨立自給の策を立てられんことを望む。

### ●鐵及鋼に關する特許

特許局發行の特許公報一月七日發行の分より以降の中に就き鐵及鋼に關係あるものを摘記すれば左の如し。

第二八七四三號(大正四年三月二十四日出願  
大正四年十二月十一日特許)

特許權者 東京府 田 中 秀 治

銑鐵に砲金又は眞鍮を接合はす法

發明の性質及び目的の要領 此發明は銑鐵と砲金又は眞